

施策評価管理シート

施策体系	政 策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営	2019(令和元)年6月作成	
	基本施策	1	協働のまちづくり	担当部局(室)名	部局長名
	施 策	4	情報共有の充実	秘書広報室	手島 左千夫

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題



- 市民と行政との協働にあたっては、より積極的に市民から意見を聞く場を設けるなど、情報を共有し共通の理解を図ることが重要です。
- 行政情報の発信においては、様々な情報があふれる社会の中で、正しく分かりやすい情報を提供する必要があります。
- 行政情報の積極的な公開と説明責任を果たし、市民と行政との信頼関係を確立することが重要です。

2. 施策の基本方針



- 市政に対する意見や評価などを広く聴き取り、改善につなげることで市政に対する信頼を得るようにします。
- 正しく分かりやすい情報を市民に提供し、質の高い情報発信をすることで、市民のニーズに答えていきます。
- 情報公開制度の充実を図るなど、行政情報の積極的な公開と提供を進めることにより、行政運営の透明性を高めます。

○施策指標(目標)及び達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
現在の名張市の情報提供(広報なばり、ホームページなど)や広聴制度について満足している市民の割合(%)	目標	-	-	-	80.0	
	成果	71.2	74.7	72.5	74.9	42.0%
市ホームページへの1日平均アクセス件数(件/日)	目標	-	-	-	1,300	
	成果	1,100	1,762	1,950	2,379	100.0%
パブリックコメント1案件あたりの意見提出件数(件)	目標	-	-	-	20	
	成果	12	14	3	3	0.0%

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度～30年度)



- 情報公開、個人情報保護制度を適切に運用しました。
- 広報なばりを月2回発行、市内各戸配布して、適切な時期に市民に情報発信を行うほか、市ホームページ、SNSなどを通じて情報発信を行い、広く市政情報の共有化を図りました。
- 市民への情報発信や対外PRならびに緊急な情報などは、新聞やテレビなどのマスメディアを積極的に活用しました。
- 市民から意見を聴く機会として、市長のまちかどトーク、出前トーク、市長への手紙、パブリックコメントなどを受付しました。

4. 成果を踏まえた課題や現状



- 公文書の作成や保管については適切な対応が求められているところです。同時に、求められる情報公開や個人情報保護制度を引き続き適正に運用していくことが重要です。
- 広報なばりの紙面の充実を行い、ホームページは適正な管理運用と、必要な情報をすぐに確認できる見やすさが求められます。
- 市民から積極的に意見を聴く機会を増やし、市民と行政の信頼関係を図る必要があります。パブリックコメント制度の見直しが必要です。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)



- 行政情報である公文書を積極的に公開し、行政の透明化と説明責任を果たしていきます。
- 広報紙は、少しでも市民が手に取り市政に関心を持っていただくような分かりやすく充実した内容にします。
- ホームページは、適切な時期に必要な情報を発信していきます。スマートフォン利用者を意識した見やすさ、障害のある人や外国人をはじめ、全ての人が情報を得やすくなるよう、ユニバーサルデザインを意識した環境や検索しやすさなどを整えていきます。
- パブリックコメント制度の見直しを検討します。また、まちかどトークや出前トーク、市長への手紙のほか、広報紙への意見やホームページへの意見なども担当室と情報共有しながら、施策の充実や業務の改善につなげ、市民との信頼関係を深めます。

6. 行政評価委員会による総合評価



パブリックコメントに寄せられる市民の意見が少ないことから、市民への情報提供や意見聴取方法の変更など、制度の見直しを検討すること。